平成３１年第１回大仙市教育委員会定例会議事録

平成３１年第１回大仙市教育委員会定例会を平成３１年１月１８日（金）午後４時から大曲図書館において開催した。

出席者

教育長　吉　川　正　一
委　員　風　登　森　一
　　鈴　木　直　樹
　　工　藤　浩　一
　　中　島　　康
　　髙　見　文　子

説明員

教育指導部長	高　野　一　志
生涯学習部長	安　達　成　年
教育総務課長	田　口　広　龍
教育指導課長	築　地　　高
教育研究所長	木　村　百合子
生涯学習課長	佐　藤　正　道
文化財保護課長	熊　谷　直　栄
スポーツ振興課長	伊　藤　優　俊
学校給食総合センター所長	品　川　雄　喜
総合図書館長	冨　樫　武　彦
総合市民会館長	大　河　洋　子
花火伝統文化継承資料館長	竹　村　宏　之
花館公民館長	寺　村　彰　浩
神岡中央公民館長	黒　川　　博
西仙北中央公民館参事	小　松　茂　吉
中仙公民館長	髙　橋　千　秋
協和公民館主幹	関　　恵美子
南外公民館長	佐　藤　政　利
仙北公民館長	風　登　紀　英
太田公民館長	黒　澤　伸　朗

書記

教育総務課副主幹	堀　川　あずさ

付議案件

議案第1号　大仙市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

吉川教育長

委員の皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、委員の皆様、全員御出席です。書記に堀川副主幹を指名いたします。

ただいまから、平成３１年第１回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

今年は亥年。平成も残すところ数か月ですが、時代は変わっても、より地域活性化に貢献できる教育委員会として、充実感ある変化の年にしたいものです。

それでは、資料の１ページを御覧ください。

まず、学校教育の中の主な教育活動等についてでありますが、１月４日から１２日まで、オーストラリアへの中学生海外派遣が行われました。参加した２０人全員が元気に全日程をこなし、無事終了しております。どの生徒も満足した顔で帰国したということです。この後、２月の発表会へ向けての準備にかかります。参加した生徒がふるさと大仙の良さを再認識し、地域を元気づける一人として成長してもらいたいと思います。

また、今年も人気のある教育委員会主催の企業等訪問が、４日間にわたって開催されました。昨年より多い七つの企業や農業法人等で、多くの子供たちが職場見学や体験をしております。

研修等では、１月２３日に、市民参加型としては４回目となる「大仙市いっせい防災行動訓練（シェイクアウト訓練）」が、全小・中学校も参加し、目標４万人を目指して実施されることになっております。

県外視察では、今年も足立区教育委員会からの要請を受けまして、大仙市の教育の実践紹介と授業改善に関するディスカッションに参加することになっております。

次に、社会教育関係ですが、１月８日に１３回目となる大仙市民書初め大会が大曲体育館で開かれました。今年もオープニングで大曲高校の書道パフォーマンスが披露された後、園児から高校生まで、８５人の方々が力作に挑戦しました。

次に、文化財関係ですが、１月２０日に古四王神社の文化財防火デーが開かれます。このときは、東大曲小学校の児童による防火訓練をはじめ、火消しもちまつりや雪中田植えなども行われる予定です。

次に、社会体育関係では、１月５日に大仙市体育協会大曲支部のスポーツ賞の受賞と新年のつどいが開かれ、各地区で長年にわたってスポーツ振興に御尽力いただいた４人の方々に功労賞が贈られております。

なお、子供たちのスポーツの大会での活躍には目を見張るものがありますが、先日の全国都道府県対抗駅伝の女子の部では、９区間中、２区間で大仙市出身の方が走っています。今度の日曜日の男子の部では、７区間中、なんと４人が大仙市出身者であります。是非頑張ってもらいたいと思います。

最後に、安全・安心についてでございますが、学校給食、児童生徒の事故等とも、特に問題となる事案はございませんでした。

なお、インフルエンザの状況でございますが、お手元の資料にありますとおり少しずつ増えてきており、藤木小学校の１年生が、今日から月曜日まで学年閉鎖という措置をとっております。

以上で私からの報告を終わります。
それでは、次に各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきます。まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長
それでは、会議資料２ページを御覧ください。教育総務課は、３項目になります。
おととい１月１６日、ドンパルにおいて「第２回中仙地域学校再編素案検討委員会」を開催いたしました。学校統合の組合せ、統合の形態、校舎等の基本方針について、活発に意見が交わされました。次回は、１月２９日に開催する予定です。
教育総務課は、以上であります。

吉川教育長
次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長
教育指導課からは、１１項目ございます。このうちの６番、「心のバリアフリー講演会」ですけれども、１月１１日、大曲市民会館小ホールで行われました。北海道教育大学函館校の細谷先生の講演、人権擁護委員の方からも講演をいただきました。１５０人ほどの方から聴いていただきました。２月１０日にも、またバリアフリーの研修会が予定されております。教育指導課からは、以上です。

吉川教育長
次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長
生涯学習課は、記載の３項目のとおりです。そのうちの１番は、教育長からの御報告にもありましたとおり、大曲体育館において開催されました。全部の作品は、１月１２日から２０日まで大曲交流センター１階の中研修室に展示されておりますので、皆様から御覧いただければ幸いです。２番の「生涯学習部関係施設使用料検討会議」ですが、現在、公民館等やスポーツ施設の使用料は、統一した基準を設けた使用料ではございません。市町村合併以降に統一する予定でありましたが、今年の１０月に消費税１０パーセントになった際に市全体で改正するということで、現在、条例改正案を３月議会に提案する予定で進めております。時期がまいりましたら、教育委員会に報告いたしますので、よろしくお願いいたします。生涯学習課からは、以上です。

吉川教育長
次に、文化財保護課長、お願いします。

文化財保護課長
文化財保護課関係は、４項目記載しております。４番の「古四王神社文化財防火デー」

でございますが、今回は、御法川衆議院議員様に御来賓としておいでいただく予定となっていますので、お知らせいたします。以上です。

吉川教育長
　次に、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長
　スポーツ振興課は、１１項目挙げてございます。１番の「秋田県スポーツ大使による野球教室」ということで、１月５日に２１７人の参加で、嶽ドームで開催されております。講師には、秋田県スポーツ大使であるヤクルトスワローズの石川投手、石山投手、それから、千葉ロッテの成田投手、横浜ＤｅＮＡの砂田投手と、現役の選手から野球を直接教わることができるということで、大変好評でした。４番の「スポーツ障害予防教室」ですが、今月も１４日に行われております。５７人の参加がございました。来月は、バドミントン競技の子供たちを対象とした障害予防教室を開催する予定となっております。以上です。

吉川教育長
　次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長
　学校給食総合センターは、５項目記載しております。冬休み明けの後期後半は、１月１５日から給食が始まっております。以上でございます。

吉川教育長
　次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長
　総合図書館は、７項目記載させていただいております。その中の１番、「文化財保護課展」でありますけれども、今年度、初めての試みとなりまして、市で発掘されました縄文時代の土器や石器の展示を行っております。開催してから１０日が過ぎましたが、１３０人以上の方が見学されております。図書館としましては、これからも市が所有する貴重な文化財や資料を展示する機会を増やしていきたいと考えております。以上です。

吉川教育長
　次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長
　総合市民会館では３項目記載しておりますが、その中の３番です。「大曲交流センター自衛消防訓練」ですが、１月２３日の市のシェイクアウト訓練に併せまして、交流センターに勤務している職員と市民会館職員とで自衛の消防訓練を行います。非常放送、初期消火、避難誘導等について、被害の拡散を防止するために行うものでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、花火伝統文化継承資料館長、お願いします。

花火伝統文化継承資料館長
　はなび・アムからは、２点でございます。２番目ですが、３階の花火資料室では開館から約６か月間、「『大曲の花火』プログラム・ポスター展」を開催しておりましたが、当初の計画どおり、半年に１回の模様替えという予定をしておりましたので、入替え作業を行います。内容としましては、日本三大花火展ということで、大曲、土浦、長岡の花火大会に関するプログラム、ポスター等の資料展示を計画しております。以上でございます。

吉川教育長
　次に、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長
　花館公民館は、７項目記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長
　神岡中央公民館です。３項目、記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、西仙北中央公民館長、お願いします。

西仙北中央公民館参事
　西仙北中央公民館です。１１項目記載のとおりでございます。以上でございます。

吉川教育長
　次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長
　中仙公民館は、３項目記載しておりますけれども、記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館主幹

協和公民館は、５項目記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長
南外公民館は、６項目記載しております。この中にもございますが、２月３日の日曜日ですけれども、南外小唄コンクールが開催されます。実行委員会で打合せを行い、準備を進めているところでございます。コンクールの出場申込みを１６日に締め切りまして、一般の部に、市内から２９人、市外から１５人の計４４人、それから年少の部に、園児２人、小学生８人、中学生２人の計１２人、総勢５６人の方々が、自慢ののどを披露することになっております。昨年まで、年少の部に出場してくれた小・中学生は、全て、秋田市、潟上市の子供たちだけでしたけれども、今回、初めて地元南外の小学生が２人出場することになっております。これも、地元の民謡関係者が、日頃こつこつと子供たちに指導、普及活動をしてきた結果であり、大変喜んでいるところです。子供たちの唄も、非常に聴き応えがございます。来月の大会には、皆さんからおいでいただければ有り難いと思っております。以上です。

吉川教育長
次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長
仙北公民館は、７項目記載のとおりでございます。以上でございます。

吉川教育長
最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長
太田公民館ですが、７項目記載しております。その中の５番ですが、「日本漢字能力検定」ということで、本日、午後４時から、２６人の太田地域内の小学生が各級の試験に臨んでおります。以上です。

吉川教育長
以上、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

風登委員
花火伝統文化継承資料館長にお訊きします。半年のスパンで入替え、模様替えをするという話でしたけれども、例えば、向こう３年間くらいを通しての計画とか立てているんでしょうか。これが１点。また、非常にハイペースで、来館されているお客様がいらっしゃ

るということで大変うれしいことなんですが、子供たちが興味を引く企画コーナーとか、子供を引きつけるような展示がないと、多分大人は１回見ると、あとはなかなか足を運んでくれないような気がします。子供が来ると、必ずそこに両親や祖父母が来て、入館者数が増えていく傾向が強いと考えられます。そういうところを、どのように考えていらっしゃるかをお聴きしたいと思います。

花火伝統文化継承資料館長
　まず、一つ目でございますけれども、理想としては、中長期的な展示の企画をあらかじめ決めておければいいんですけれども。今のところ、まだ手探りの状態にありまして、そこまで先のスケジュールは立てていけない状況にはありますけれども、スタッフだけではなく、できれば花火に詳しい方々の展示に関する専門的な委員会みたいなものを立ち上げようかという考えもあります。そういった中で、御意見をいただきながら、２・３年くらいの展望ができれば理想だと考えております。
　二つ目の子供向け展示というお話でしたけれども、今回は、日本三大花火展ということで、大人向けの展示ではございますけれども、一緒に「おもちゃ花火」の展示もやろうかと考えております。子供さんにもたくさん来ていただくことが、リピーターを増やすことだと思いますので。

風登委員
　子供を引きつけるような展示を、是非考えていただきたいと思います。１点目のところで、模様替えをするというときに、例えば、美術館とか博物館であれば学芸員を置いて、中長期のスパンでいろいろ企画していることが多いと思うんですが、今のスタッフだけでは、かなり厳しいわけですよね。

花火伝統文化継承資料館長
　そうです。

風登委員
　外部からいろいろ情報を得てこういう企画をしてみたい、今はそういう形で考えていきたい、そういう状態でないと厳しいということですね。

花火伝統文化継承資料館長
　実際に、今まで資料の収集に携わってくださいました組織のお三方がいらっしゃいますので、その方たちに、御助言やアドバイスをいただきながら進めていきたいと思います。

風登委員
　大仙市内には４つの花火業者があるんですよね。

花火伝統文化継承資料館長
　はい。

風登委員
　そういう方たちからの情報も、当然得ているんですよね。

花火伝統文化継承資料館長
　そうです。

風登委員
　何か、ちょっと仕組みや仕掛けを考えないと、館長をはじめスタッフがかなり難儀されると思うんです。

花火伝統文化継承資料館長
　行き当たりばったりだと、この先、難儀しますので、委員がおっしゃられたような仕組みを考えてみたいと思います。

風登委員
　大変でしょうけれども、とにかくいろんな情報を集めて取捨選択するというところは、スタッフにかかっていると思います。よろしくお願いしたいと思います。

花火伝統文化継承資料館長
　はい。分かりました。

生涯学習部長
　その点に関しまして、資料の方も２年くらい前からアーカイブス的に整理しようとしましたけれども、いざ開館してみますと余りにもお客さんが来て、スタッフが電子的な保存作業ができない状況になっています。お客さんが来てくれるということで、うれしい悲鳴なんですけれども、スタッフがどうしてもお客さんにかかりきりになってしまって、整理の方がなかなかできておりません。職員数も限られておりますので。
　今年、採用試験で学芸員を募集しましたけれども、結果的に集まりませんでした。来年も採用をお願いしています。市でも採用試験を実施するということで、全国へ呼びかけましたけれども、そのものに特化した部分については、美術館、博物館系統の方が来なかったということで。来年になれば、また、別の方が来るだろうとは思いますが。そこでも苦慮している状態といいますか。現実問題として、今年度も市の採用試験で内定が出た方々のうち、かなりの数の方が辞退されたということです。例えば、大仙市と秋田県を併願して、優秀な方ですから、大仙市と秋田県の両方合格し、結果、大仙市をお断りするというように。採用試験をやったけれども、現実としては、採用人数が少なくなったということでした。来年に向けて、市でも工夫しながら行うということでしたので、それに期待したいと思います。

風登委員

花火伝統文化継承資料館長に、もう１点よろしいですか。
ショップがないので、「大曲駅の２階で」と書いてありますよね。私、行ってみたんですが、花火グッズはいっぱいあるんですね。花火伝統文化継承資料館にショップがないとなると、お客さんはがっかりすると思います。駅まで行かなければいけないのかと。ここは、前向きに検討をしていただきたいと思います。予算獲得とか大変でしょうけれども、是非お願いします。

花火伝統文化継承資料館長
分かりました。

吉川教育長
その辺は市長も考えているようで､旧大曲くらぶ跡地をどうするかということも含めて。開館したときに、旧産業展示館の入り口で少し販売をやったんですが、非常に数も限られていたので。あのような形ではなくて、もう少ししっかりとした構想も持っているようです。あと、目玉であるシアターの映像もリニューアルします。また、迫力あるものを上映するということで、試写会等をやりながら最後の詰めに入っているところでございます。楽しみにしてもらいたいと思います。いつ頃、新しい映像になりますか。

花火伝統文化継承資料館長
４月からを予定しております。

吉川教育長
その前に、決まったら委員の皆様に見ていただきたいと思います。

吉川教育長
ほかにございませんか。

鈴木委員
昨日、大仙市観光物産協会の理事会があったんですけれども、そのとき出た話題に、角間川の御三家の進捗状況はどうなっているというような質問や、将来どのように活用するんだとか質問が出ていました。観光物産協会では、まだそういう情報を多分こちらの文化財保護課と共有していないと思うんです。事務局長も、何もまだ動いていないということでしたので。観光物産協会の理事が見たことのない良いものが、大仙市内にいっぱいあるので、いずれお願いにあがると思うんですが、協会の活動が活発になるよう、そういった施設等を早めに見せていただいたり、将来的にどのように動くとか、出せる情報で結構なので連携をとらせていただきたいと思いました。

吉川教育長
文化財保護課長お願いします。

文化財保護課長
　進捗状況についてなんですけれども、改めて、いずれ文書で委員の皆様にお示ししたいと思います。実は、今日がちょうど御三家の一番南側の荒川さんの家をリノベーションする管理棟の工期末で、私、午前中に行ってきたんですが、大変良い感じに改修ができている状況です。そして、来週が完成検査になっています。委員の御指摘のとおり、そういったことをこれからやらなければいけないと感じているところです。各団体にどういうアプローチ、どういう情報提供をしていこうかとまさにプランしている段階ですが、当然、観光物産協会さんは、協力事業者になり得る団体の一つだと思っております。あと、御承知のとおり、まちづくり会社ということで「株式会社角間川」が１２月末に法人登記し、来月、１回目の総会を行いますが、そういった団体の皆さんとも連携していかなければいけないと。あと、ＪＲさんへの情報提供と、合わせて３つの団体を想定しています。うまくコラボして連携すれば、すごい力になると思いますが、もしや競合しないだろうかと実はちょっと思っている部分もありまして。周遊する観光型のコース、プラン、商品を作っていくことになると思うんですが、どのように連携が必要なのか、まさにプランしている状況です。担当者レベルでも情報交換等をしたいと思いますし、また、完成もしましたので、内覧あたりからやってもいいかなと、今、お話をしていて思ったところでございます。

鈴木委員
　協会は、そういう観光施設を把握して情報発信し、誘客をするための組織です。多分、競合はしないと思いますので、是非、仲良くやらせていただけると思います。よろしくお願いいたします。

文化財保護課長
　情報発信というところに関して御協力いただけるのは大歓迎なので、積極的に情報リリースをしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。今後、３月から４月くらいを目途に情報を出していきますので、よろしくお願いしたいと思います。

鈴木委員
　分かりました。

吉川教育長
　文化財保護課だけではなくて、市長部局のまちづくり課とか観光交流課からも頑張っていただかないといけないので、その辺も連携しながら。

文化財保護課長
　もう一つよろしいですか。これも、文書でまとめるべきことなんですけれども、角間川の本郷家住宅の新年度の公開を、５月１１日から行います。それは、「大曲の花火　春の章」の開催日、そこからからやりましょうということで、今、観光交流課と協議をしております。そういった動きがありますので、おって積極的にリリースをしていきたいと思い

ます。よろしくお願いいたします。

鈴木委員
　分かりました。

吉川教育長
　ほかにございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長
　それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。
　次に、付議案件に入ります。はじめに、議案第１号「大仙市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について」を議題といたします。教育指導課長、説明をお願いいたします。

教育指導課
　それでは、議案第１号 大仙市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について、御説明申し上げます。
　本規則は、小中学校の管理の基本的事項について定めたものでありますが、本案は、小中学校の夏季休業の期間を改めるため、所要の一部改正を行うものであります。
　資料のナンバー１、「新旧対照表」を御覧ください。
　改正内容について、御説明申し上げます。
　現在、本市の小中学校の夏季休業日については、第３条第１項第４号に「７月２３日から８月２３日まで」と規定しておりますが、これを、開始日及び終了日を３日間前倒しして、「７月２０日から８月２０日まで」とするものです。
　次に、改正理由についてであります。
　昨今、夏の気温上昇による熱中症対策が急務となっております。夏季休業が始まる７月中頃は、暑くなり始めの時期であるとともに、急に暑くなる場合もあり、この暑さは例年、授業のみならず学校生活全般へも様々な影響を及ぼしております。また、この時期は、全国で熱中症搬送者数や死亡者数が急増する時期でもあります。夏季休業の開始時期を早めることは、まだ暑さに体が慣れていない児童生徒にとって、夏の暑さ対策及び熱中症対策として有効であると考えます。
　一方で、学習指導要領で定める授業時数の確保という観点からは、長期休業期間の延長は避けたいところでもあります。
　こうしたことから、夏季休業日を３日間前倒しするというものであります。開始日と終了日を同日数繰り上げているため、合計日数の３２日間に変化はなく、このことによる学

業等への影響はないものと考えております。また、８月中旬を過ぎますと、児童生徒も暑さに幾分慣れてきており、その耐性も比較的高まってきていると思われます。先般、市の校長会及び教頭会にもこの案を示したところ、保護者対応や学校行事等で大きな支障はないとの回答をいただいております。

施行期日は、平成３１年４月１日からとしております。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

吉川教育長

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

秋田市もこのような手法で、少しでも夏休みを前倒しするような状況でございます。

エアコンは、２年がかりで全部の小学校へ取付けする予定ですが、中学校は今のところ未定です。それでも、今年の夏からすぐに使えるというわけではありません。今年の４月以降からでないと工事に入らないと思いますし、設置にも結構時間がかかりますので、実際に稼働するのは２０２０年からになろうかと思います。

皆様、よろしいでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長

それでは、本案は原案どおり制定することに御異議ございませんでしょうか。

各委員　（異議なし）

吉川教育長

それでは、本案は原案どおり制定することとします。

以上で、付議案件の審議を終わります。

次に、次第の５番その他に入らせていただきます。

はじめに、教育総務課長から総合教育会議について説明をお願いいたします。

教育総務課長

来月、市長が主宰する総合教育会議を開催する予定であります。日時は２月１５日金曜日午後３時から、会場は本庁大会議室を予定しております。

案件につきましては、昨年度同様、「今年度の主な教育施策の概要と今後の教育施策について」ということで、協議を予定しております。

今年度実施しました教育施策の中から、いくつか事業を選んで教育長が報告しますので、それを踏まえ、各委員の皆様から感想や御意見をいただく予定となっております。会議の資料ができ次第、あらかじめ送らせていただきますので、御準備をよろしくお願いいたします。

参考までに、お手元に昨年度の議事録をお配りしていますので、目を通していただきま

して、流れを掴んでおいていただければありがたいと思います。
　勝手ながら、市長の１月、２月のスケジュールが大変厳しく、一方的に日程を決めさせていただきました。よろしくお願いします。以上です。

吉川教育長
　本来であれば、委員の皆様の御都合も踏まえて決めたいところですが、市長の都合もございまして、２月１５日金曜日午後３時から、まず１時間くらいですが、本庁大会議室で開催ということで、委員の皆様、今のところ御都合はよろしいでしょうか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　あとで、資料等お送りしますので、よろしくお願いいたします。
　次に、昨年１２月に行われました「平成３０年度秋田県学習状況調査」の分析結果がまとまりましたので、その内容につきまして、教育研究所長から報告をお願いします。

教育研究所長
　今年度の秋田県学習状況調査の結果が、１月８日秋田県教育委員会から公表されましたので、皆様方に調査結果の概要について御説明いたします。資料ナンバー２を御覧ください。
　本調査は、平成３０年１２月５日に小学４年生、５年生、６年生、１２月６日に中学１年生、２年生を対象に、小学４年生は国語・算数・理科の３教科、５・６年生は国語・算数・理科・社会の４教科、中学校は国語・数学・理科・社会・英語の５教科で実施されたものであります。
　本調査の実施内容につきましては、児童生徒に対する「教科に関する調査」と「学習の意欲等に関する質問紙調査」の２種類となっております。
　本日は、「教科に関する調査」の県との比較における本市の状況について御説明いたします。
　はじめに小学校についてであります。
　資料内のグラフを御覧ください。グラフの２本の柱は、左の青色が大仙市、右の赤色が県の正答率を示しております。
　小学校の５年生、６年生は全ての教科で県の平均正答率を上回っております。４年生では、国語と理科で県の平均正答率を上回っております。４年生算数も県の平均正答率と０．４ポイントの違いであることからおおむね良好であると捉えております。今後も各教科の課題を明確にして、更なる授業改善を図ってまいりたいと思います。
　次に、中学校についてであります。
　１年生では、数学と社会で県平均正答率を上回り、国語と英語は同程度であります。２年生では、英語以外の教科で県平均正答率を上回っております。
　１年生理科、２年生英語については、その差は、どちらも１．７ポイントというものであることから、全体的にはおおむね良好であると捉えております。中学校においても各教

科の課題を明確にして、更なる授業改善を図ってまいりたいと思います。
今後は、県教育委員会から公表されます「県の課題」や、「調査結果の考察」等を踏まえながら、本調査結果の更なる分析を進めるとともに、校長会及び教頭会において、成果と課題などについて検証し、授業改善に結び付くサイクルを確立できるよう丁寧に説明してまいります。
各小・中学校には、児童生徒一人一人の課題を把握し、その改善に向けて基礎・基本の更なる定着を図るとともに、小・中９年間を見通した学習指導を一層充実していくよう、各学校の取組を引き続き支援してまいります。以上でございます。

吉川教育長
ただいまの報告につきまして、御質問等ございませんでしょうか。

工藤委員
おおむね良い状態だということで良かったなと思っているんですが、大仙市として目指すところといいますか、県より上回っているので良しとするのか。子供たちの状態を、数値、データで表すのは良くないのかもしれませんが、どう捉えたらいいのか私も悩むところではあるんですが、大仙市として、正答率これくらいを目指しているんだとか。何か改善を図るときに、私たちも業種は違いますけれども、これが悪いからこういう改善をするんだと、改善をすることによって目指すところにもっていくというやり方をするんですけれども、大仙市として目指すべき姿、そういった大きな方向というか方針はあるのかということを、もしあればお聞かせいただければと思います。

教育研究所長
県の学習状況調査一つでとは思っておりません。４月に行われます、全国学力状況調査があります。それから課題がはっきりしたところで、各小中学校がその改善を目指して１２月の県の調査を一つの指標として、どこまで改善のあった教科が伸びるかということを取組の一つとしております。そして、もう一つは、高校入試があります。秋田県はこの三つを一つのサイクルとしておりますので、大仙市も同様に、一つのことというのではなくて、成果と課題を見つけるためのものと捉えながら、次に生かしていこうと考えております。まず、比べるものが、県の学習状況調査は、県平均が一番見えやすいものでありますので、こういった形で表現しておりますけれども、これはあくまでも市の平均でありますので、各小中学校それぞれには、またそれぞれ別の成果と課題がありますので、そういったところは、この後２月に行われます校長会を目指して、市で分析と各学校のデータを比較しながら学校の支援をしていこうと思っております。

吉川教育長
工藤委員からの御指摘がそのとおりでありまして。県で問題を作るんですが、県では、これくらいまではとってもらいたいという設定通過率というのをもっています。これが一つの目安になります。資料には載せておりませんが、そういったものをもって問題作成をしますので。ただ、その年によって、余りにも差があったり、逆に良すぎたりということ

もありますので、公にはしていませんが。そういったものもありますので、それが一つの目安になるかと思います。市としても、その設定はどういうものだったのかということで、その情報をもらって、県で考えている目標値は大体このくらいだと、例えば、小学４年生の国語であれば７０点くらいまではほしいというのであれば、そこまで達してないところは、どこがどうだったのかというのを十分に分析して、その辺の情報も各学校にも入れながら、その目標に向かって改善していってもらいたいと思います。

工藤委員
　ありがとうございます。

鈴木委員
　おっしゃられたとおり、問題の内容とかデータには見えない要因もたくさんあって一概には言えないと思うんですけれども、おおむね良いということは良かったと思います。データを見て気になるところは、中学生の英語ですけれども、１年生では、ほぼ県と同じか、０．１ミリくらい下に見えるのが、それが２年生になると顕著に下がっていると。県全体としても、大仙市としても低くなっていて。この先の３年生のデータはないんですけれども、非常に不安を感じるような流れをこのデータから読み取れると思います。おおむね良好のところで終わってしまっては、ちょっとまずいかなと思うんですが、データから見る限りでは、英語の中身をかなり調べないといけないかなと思いました。

吉川教育長
　今は、まだ速報の状況ですので。全国学習状況調査もそうですが、課題のあったところは、どういった問題に子供たちは弱いのかという辺りを分析しますので、そういったところを踏まえて、その辺も含めた資料を今後お渡ししたいと思います。ただ、鈴木委員から御指摘があったように、中学２年生の英語は、県が非常に低いですよね。これは、問題作りの課題だと思います。県では、問題作成がどうあればいいかというのを、もう１回検討をしているんではないかと思います。やはり、余りに難しすぎても、設定通過率を設けるのが難しくなりますし、逆に、余り高いと簡単すぎないかということになりますので。その辺の情報ももらいながら、本市としての課題を明らかにしていきたいと思います。
　ほかにございませんか。

風登委員
　平均の比較なので、何とも言えないと思うんですが、標準偏差というのは、情報、データとしてもらえるものですか。

教育研究所長
　先ほど教育長からもありましたが、理想とする設定通過率が県から示されます。標準偏差というのは。

風登委員
　例えば、一つの学校ですごく優秀な子供たちが半分いて、厳しい子供たちが半分いて平均をとったら大仙市の平均だったと。この場合は、かなり問題がありますよね。つまり、標準偏差が分からないと、良いとか悪いとかは言えないと思います。そういうのを、研究所では把握しているものなのかということを一つお聞きしたいです。

教育研究所長
　先日の教頭会で具体的にお示ししたんですけれども、設問ごとの市の平均のところと、最高値、最低値とか、本市の設問ごとの到達点と県の比較とか、一問一問分かるような形で、もちろん私たちも把握してますし、学校にも示しております。

吉川教育長
　県では標準偏差もやっております。ただ、最近は、偏差値教育とかいろいろな声がございます。例えば、大学受験の在り方を、そういったものに偏重して変になっていないかといった御意見もございます。やっていることはやっているんですが、やはり、ばらつきの場合は、例えば、真ん中が少なくて良い人と悪い人が多い、これでは良い状況だとは言えないです。山型が全体として上位の方にある、これが良いバランス状況です。そういった具合をみるのが標準偏差となるんですが、それも情報としてはもらえますが、公という形では示しておりません。その辺の情報ももらいながら、市のばらつきはどうなのかという辺りを研究して、情報提供してもいいんじゃないかと思います。

風登委員
　偏差値はどうでもいいんですが、やはり標準偏差が分からないとよくないと思います。
　あと、資料の中の「中学２年生」と「各学年全体比較」を見てなんですが、「中学２年生」では、社会で１０ポイント以上も大仙市が上回って、明らかに有意差があるからこのようになると思うんですが、「各学年比較」で他の学年と比べて見たときに、中学２年では、もっと差があるんじゃないでしょうか。何かちょっと違うんじゃないかと思えるんですが。

教育研究所長
　スケールを４０から１００にしております。０から１００でありますと、差がほとんど見えない形になりますので、見える形に作っています。私たちは、数値が入った状態で把握しておりますが、数字では公表しないということでおりますので、このグラフだけでお示ししております。

風登委員
　ぱっと見たとき、中学２年の５教科では、もっと差が出ているんじゃないかなと。他の学年は、大体そうだと分かるんですが、中２だけは違うような気がして。入力ミスかと思いまして。

大曲図書館長
　英語の点数そのものが、県も市も両方とも低いですよね。そのために、他の教科から平均してもってきますと、その差がどんどん詰まってしまっている、そういうことになろうか思います。

教育研究所長
　差ではなくて、トータルの点数になっているので、このようになっていると思います。

風登委員
　ぱっと見ると、あれって思ってしまうんです。
　こんなに差が付いているのに、その差を詰めてしまう。英語を除いた４教科は、県より大仙市が大きく上回っていますよね。

吉川教育長
　全体比較は、例えば、県とのポイントの差だけでいけば、大仙市はぐっと上がるんです。見せ方があると思うので、それをちょっと研究しましょう。

教育研究所長
　分かりました。

吉川教育長
　よろしいでしょうか。
　ほかに、皆様から何かございませんでしょうか

各委員（なし）

吉川教育長
　なければ、教育総務課長から次回の日程についてお願いします。

教育総務課長
　次回、２月の定例会の日程についてです。２月２１日木曜日午後３時から、ここで開催したいと考えております。
　また、恐縮ですが、臨時会も予定しておりまして、２月２５日月曜日午後４時から、こちらもここで開催したいと考えております。こちらは、説明員が教育指導部長のみで、秘密会となる予定です。御検討をよろしくお願いいたします。

吉川教育長
　どちらかの日程に統一したかったんですが、議会の一般質問等の対応が出てくるため、なかなか、午後全部とはいかずに、このようになりました。２月２１日は、定例の教育委員会です。２５日は、教職員人事に係る秘密会であります。お忙しいとは思いますが、よ

ろしくお願いします。
　したがいまして、次回の定例会は、２月２１日木曜日の午後３時、それから第１回臨時会、人事に関わる秘密会ですが、２月２５日月曜日の午後４時からここで開催ということで、御都合をつけていただければと思います。今のところ、２１日と２５日で計画させていただきますが、よろしいでしょうか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　それでは、次回の定例会及び臨時会は、そのようにさせていただきます。
　ほかに、委員の皆様から何かございませんでしょうか。
　中島委員、インフルエンザは、今、Ａ型が多いですか。

中島委員
　そうです。全部Ａ型です。県の感染症情報センターから１週間ごとに週報が出るんですが、１月の第１週が多くて、第２週がぐっと減っているんです。今、第３週なんですが、実際、また増えてきていますので、また数値が上がってくると思います。これから１月下旬、２月がピークになるかと思います。今のところ、Ｂ型は、まだほとんど出ておりません。

吉川教育長
　中学校は、いよいよ前期選抜が始まりますので、中学３年生は、かからないようにしたいものです。
　よろしいですか。
　本日の日程は、全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じさせていただきます。
　ありがとうございました。